

# 令和6年度 学校評価アンケート集計結果について

## 1 実施

(1) 対象者 教員（常勤職員）、全校生徒及びその保護者

(2) 期間 教員 11月27日(水)～12月 3日(火)  
生徒 11月27日(水)～12月 3日(火)  
保護者 12月 4日(水)～12月10日(火)

### (3) 方法

①さくら連絡網に google form で作成したアンケートを添付して、回答を依頼した。  
・生徒用については、期間を1週間延長して実施した。

②集計は匿名で行った。

③各項目を次の段階で評価する。

A：よく当てはまる B：どちらかと言えば当てはまる  
C：どちらかと言えば当てはまらない D：まったく当てはまらない  
E：わからない（判断できない）

④教員及び生徒用はA・B・C・Dの4段階、保護者用はA・B・C・Dの4段階の他、Eを加えた評価を実施した。

⑤改善に向けた提言を頂くという観点から、自由記述を求める設問も設けた。

### (4) 回答数

【今年度】教職員 37 (82.2%↓)、生徒 517 (72.3%↓)、保護者 336 (47.0%↓)

【前年度】教職員 46 (90.2%)、生徒 649 (90.5%)、保護者 455 (63.5%)

## 2 考察

次の2点について、評価の観点とする。

①肯定的評価（A+B）の割合

②前年度との比較のために、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点と点数化して各項目の平均値を比較

### (1) 教職員対象アンケート

#### 【①の視点】

25項目中21項目（昨年度20）で80%を超え、うち18項目（昨年度13）が90%を超える。教職員からは全体的に高い評価を得ていることがわかる。肯定的評価の割合が80%を上回るもののうち、昨年度に比べて肯定的評価の割合が特に増加したのものには、「5有機的連携」(+5.5%)、「7教育課程」(+13.1%)、「8授業レベル」(+6.5%)、「9教科指導」(+7.2%)、「10組織的指導」(+7.1%)、「11進路指導」(+8.2%)、「18危機管理」(+6.5%)、「25家庭・地域」(+6.5%)がある。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が低かったもの、減少したのものには、「17体験・ボランティア」(56.8%、-10.6%)、「21施設・設備」(52.8%、+0.6%)等がある。

#### 【②の視点】

前年度比でプラスになった項目は18、マイナスになった項目は8であった。特にプラスに転じた項目で目立つものは、「7教育課程」(+5.5点)、「18危機管理」(+6.5点)、「22環境・美化」(+5.3点)、「23職業倫理」(+5.5点)である。一方、マイナスに転じた項目で目立つものは多くないが、「17体験・ボラ」(-3.6点)等がある。

【自由記述】「教職員の業務の適正化」、「校務のDX化」等の組織運営についての問題意識や、「無線LANのAP充実や多目的教室のリニューアル」、「エアコン設置」、「水道の修繕」等の施設・設備の改善や、「教育課程」等についての記述があった。

## (2) 生徒対象アンケート

### 【①の視点】

13項目中11項目（昨年度は9）で80%を超え、うち「1 本校入学」（90.3%）、「2 本校雰囲気」（95.5%）、「4 自主・自律」（91.5%）、「5 学校行事」（96.3%）、「6 教師の熱意」（93.8%）、「7 悩み相談」（92.8%）、「12 進路情報」（90.3%）の7項目（昨年度は2）が90%を超え、生徒からも全体的に高い評価を得ていることがわかる。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が低かったもの、減少したのものには、「8 施設・設備」（62.0%、+13.2%）等がある。生徒による授業評価アンケート等も参考にしながら、継続的に改善に努めていきたい。

### 【②の視点】

前年度比でプラスになった項目は13、マイナスになった項目は0であった。13項目のうち11項目の平均点が70点以上である（肯定的評価A=100点、肯定的評価B=70点と点数化している）ことから、生徒たちからも概ね肯定的な評価を得ていることがわかる。一方、平均点が70点を下回った項目には、「8 施設・設備」、「13 情報発信」がある。生徒たちの意見も取り入れながら継続的に改善に努めていきたい。

### 【自由記述】

「教育課程について」（1件）、「進路指導について」（2件）、「生徒指導等について」（9件）、「環境・衛生について」（5件）、「施設・設備について」（15件）、「各教科の授業に関すること」（25件）等があった。

## (3) 保護者対象アンケート

### 【①の視点】

18項目中13項目（昨年度は8）で80%を超え、うち「1 本校入学」（94.3%）、「2 教育方針」（95.2%）、「4 教育活動」（90.5%）、「11 学校行事」（97.0%）、「12 部活動等」（93.7%）、「17 地域の信頼」（92.2%）の6項目（昨年度は5）が90%を超え、保護者にとっても概ね高い評価を得ていることがわかる。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が低かったもの、減少したのものには、「13 体験・ボランティア」（63.9%、+7.9%）、「14 施設・設備」（61.2%、+6.7%）等がある。保護者による授業評価アンケート等も参考にしながら、継続的に改善に努めていきたい。

### 【②の視点】

前年度比でプラスになった項目は17、マイナスになった項目は1であった。18項目のうち10項目の平均点が70点以上である（肯定的評価A=100点、肯定的評価B=70点と点数化している）ことから、保護者の方々からも概ね半分以上の項目については肯定的な評価を得ていることがわかる。一方、平均点が70点を下回った8項目あったが、これらの項目については「わからない（判断できない）」と回答された保護者が多数いる状況だった。平均点が70点を下回った項目については、次年度以降意識して改善に努めていきたい。

### 【自由記述】

「教育課程等について」（2件）、「進路指導等について」（8件）、「生徒指導等について」（7件）、「環境・衛生等について」（6件）、「施設・設備について」（11件）、「各教科の授業等に関すること」（7件）、「その他」（5件）等があった。